

教科（科目）	公民（公共）	単位数	2単位	学年（コース）	2学年
使用教科書	東京書籍『公共』				
副教材等	東京書籍『公共ワークノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成します。</p> <p>① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。</p> <p>② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。</p> <p>③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。</p> <p>④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。</p> <p>① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。</p> <p>② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。</p> <p>③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。</p> <p>④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。</p>

2 学習目標

<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。</p>

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題についての基礎的・基本的な知識の習得を目指す。 ・諸資料を活用し、現代の諸課題について考察し判断する力を養う。 ・広い視野に立ち、グローバル化する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現している。	よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に追究し解決しようとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期検査や小テスト ・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況、などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期検査や小テスト ・ICTを活用したグループワークの取り組み状況 ・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況、などから	以上の観点を踏まえ、 ・ICTを活用したグループワークの取り組み状況 ・授業ワークシート、ワークノート、課題探究レポートなど提出物の取り組み状況 ・振り返りや自己評価などから評価します。
	内容のまとめりとともに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりととの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	「公共」のとびら 公共的な空間をつくる 私たち	青年期と自己形成 自己形成と社会への参画 個人として尊重される人間 社会的な存在としての人間 伝統・文化のなかの人間	現代社会で生きていく上で青年期に求められることは何か、幅広く考えるとともに、キャリア開発や社会参画の意義について気付き、考える。 青年期に生きる自己形成の課題について考察する。	6	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
5	公共的な空間における 人間としての在り方生 き方	功利主義と幸福の原理 義務論と公正の原理	功利主義の快楽や幸福の考え方が社会のあり方と関連していることを、経済や福祉政策などを事例に理解する。	3	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等
5	1学期中間考査			1	考査
5	公共的な空間における 基本的原理	公共的な空間における協働 民主主義とは 立憲主義とは 人権保障の意義と展開	民主主義の手続きや方法の意義について理解するとともに、その課題について考える。 人間の尊厳と平等について、その意義を理解する。	4	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
6	民主政治と私たち	民主政治と政治参加 私たちの民主政治 地方自治のしくみと役割 国会のしくみと役割 内閣のしくみと役割 政治参加と選挙 政党と利益集団 メディアと世論	身近に存在する政治に気付くとともに、民主主義にかかわる制度や活動について理解する。 18歳から選挙権を有することをふまえ、投票による政治参加の意義に気付く。	4	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等
7	1学期期末考査			1	考査
7	法の働きと私たち	法と社会規範の役割 法の成立と適用 市民生活と法 多様な契約 消費者の権利と責任 国民の司法参加 司法のしくみと役割 刑事司法と司法参加の意義	法と道徳や慣習などの規範の特性については、規制する対象や範囲、効力などの点から比較し理解する。 消費者問題の例を取り上げて、消費者契約や消費者法制、消費者支援機関の役割、消費者市民社会の形成について考える。	5	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
8	経済社会で生きる私 たち	私たちと経済 市場経済のしくみ	市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割について、実際の経済事象とも関連させながら理解する。	2	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
9	経済社会で生きる私 たち	国民所得と経済成長 金融のしくみと働き 中央銀行の役割と金融環境の変化	市場メカニズムの意義と限界、政府の役割が求められることとの関係について考察する。 金融の仕組みについて理解する。	6	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
10	経済社会で生きる私 たち	財政の働き 財政の課題 社会保障の考え方 社会保障の課題とこれから	諸外国と比べた日本の財政規模、財政危機の原因について、資料を手がかりに理解する。 少子高齢化の進む日本の現状、社会保障の財源確保、社会保障と経済の活性化とのかかわりなどについて理解する。	2	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等
10	2学期中間考査			1	考査
10	私たちの職業生活	働くということ 多様な職業選択 労働者の権利 現代の雇用・労働問題	社会生活における職業の意義や役割を理解する。 資本主義社会における労働契約の特性、労働者の権利と労働三法の内容、労働条件改善に向けた課題について、実際の職業や労働のあり方とのかかわりも含めて理解する。	4	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
11	国際社会のなかで生 きる私たち	国際社会の成り立ち 国際連合の役割 国際社会と平和主義 日本の平和主義と冷戦 冷戦後の世界と日本	集団安全保障としての国際連盟、国際連合の成立とそのしくみ、国際連合における安全保障、国際連合のさまざまな役割と課題について、実際の国際的な事象と関連させながら理解する。	6	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等
12	2学期期末考査			1	考査

12	国際社会のなかで生きる私たち	国際平和への課題 現代の紛争とその影響	現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組みについて理解する。	4	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
1	国際社会のなかで生きる私たち	平和な国際社会に向けて 貿易のしくみ 国際金融のしくみと動向 グローバル化と今日の国際経済	平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の立場と役割について、実際の事象とも関連させながら理解する。 国際経済の仕組みについて理解する。	6	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
2	国際社会のなかで生きる私たち	国際経済の諸課題	国際経済の諸課題の解決に向けてどのような姿勢で何をなすべきか、多面的・多角的に考察する。	3	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等
2	学年末考査			1	考査
2	持続可能な社会づくりに参加するために	探究のイメージをつかもう 探究プロセス	現代の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。	2	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 等
3	持続可能な社会づくりに参加するために	探究のイメージをつかもう 探究プロセス	現代の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。	2	授業の取り組み ワークノート 授業ノート 課題 振り返りや自己評価等

計 64 時間(55分授業)

7 課題・提出物等

- ・各単元または教材ごとに授業ワークシートやワークノートの提出があります。
- ・テーマ学習では、テーマに沿ってレポートを作成します。
- ・長期休業中の課題は、別途指示します。

8 担当者からの一言

現代社会には解決しなければならないたくさんの課題が存在します。この「公共」の科目で社会のしくみをじっくりと考え、世の中のすべての人々が安心して暮らせる社会をつくるために私たちに何ができるかを一緒に考えていきましょう。